

様式 1

静岡県試験研究 10 大トピックス（水産技術研究所）

<b>タイトル</b>	遠洋のカツオ漁場を予測する技術を開発	<b>研究期間</b>	平成 22～24 年度
<b>研究所 所属</b>	水産技術研究所 資源海洋科	<b>補職名</b>	上席研究員
		<b>研究者名</b>	増田 傑
		<b>問合せ先</b>	054-627-1817
<b>研 究 概 要</b>	<b>【背景・ねらい】</b>		
	遠洋竿釣り漁業は、漁船同士による漁海況情報や公庁船による先行調査により、漁場探索の効率化が図られてきた。しかし、民間船の減少、県調査船の廃船により漁業者から効率的な漁場探索の方法・技術が要望されていた。		
	そこで、水温、海面高度等の人工衛星情報等、漁獲データ、魚群の移動特性などの複数の情報を組み合わせ、漁場位置予測を行う技術を開発し、有効性を確認した。		
	<b>【成果の内容・特徴】</b>		
1. 民間会社が開発した予測システムを遠洋竿釣り漁業用に改良し、人工衛星情報、魚群の移動特性を組み合わせ、2～3 日先の漁場位置予測が可能になった。			
2. 日本東海域におけるカツオとビンナガの予測図を試行版として発行し、全国の遠洋竿釣り漁船（25 隻中 17 隻）に情報提供した。			
3. 予測漁場の 3 割において漁場が確認された。			
<b>【成果の活用・留意点】</b>			
1. 平成 23～24 年に週 1～2 回の頻度で予測図を民間船に提供し、実際に漁場探索に利用されている。			
2. 漁業者に対するアンケート調査では、予測図を送った民間船の半数がよく利用していた。また、予測図を参考にしてビンナガ漁場が発見された。			
3. 今後も予測精度の向上と、普及を推進する。			

\* 図、写真などについては次頁に添付をお願いします。

様式 1

